

のですが、英語ではどうでしょうか。VLBRI はありませんが Radio を入れたものは 17 編あります。しかし日本語で一番多く使用されている超長基線電波干渉計の原語と考えられる Very Long Baseline Radio Interferometer は 1 編しかありませんでした。英語ではその他に Very を付けないものが 33 編あり、日本語でも単に長基線電波干渉計と呼ぶことがあります。次にこれは多分ロシア語から英語へ訳されたものと思いますが Superlong Baseline Interferometry という表現がありました。あと特別な表現として Transatlantic Long Baseline Interferometer, Trans-Pacific Interferometer, Intercontinental Radio In-

terferometer などというのがあります。日本語でも大陸間電波干渉計といった表現があります。中国では VLBI は甚長基線干渉測量方法と呼ばれています。ものさし VLBI と作図 VLBI を分割した名前のように思われます。さて 1982 年の夏にフランスで開かれた研究会の最初の案内状では Very Large Baseline Interferometry となっていて、ついに広がりを持ったネットワークで考える時代が来たかと思ったのですが、次からのものでは Long に訂正されていました。それと、トム・クラークさんが Very Low Basic Intelligence と言ったそうです。

書 評

天体軌道論

長谷川一郎 著

(恒星社厚生閣, 昭和 58 年 1 月 10 日発行, 407 頁, 4800 円)

最近のパソコンの普及は天文計算を身近なものにし、その結果、天文計算に興味をもつ計算アマチュアが非常に増えてきている。彼等が好んで実行する計算のひとつに、太陽系内の小惑星、彗星などの軌道要素を求める、「軌道決定」の手続きがある。しかし、これらの内容を含む「軌道論」は位置天文学の中でもかなり特殊な分野で、大学でもめったに講義されず、ましてそのテキストとくときは、日本語で書かれたものはほとんどないと同然であった。これから軌道論を学ぼうと志す人にとって、今まではたいへん不便な状況であったといえる。

本書は、この軌道決定の手続きを中心とし、軌道力学に関する内容を集大成したもので、著者長谷川氏の永年の研究の結晶である。そして、アマチュアのみならず専門家にとっても便利な形で本書が出版されたことは、まことに時宜を得たものであり、位置天文学に関心をもつものの一人として、喜びにたえないことである。

本書は、付録を別にして 15 章で構成され、大別すると 1~5 章は基礎事項、6~9 章が中心部分の各種の軌道決定法、10 章以降が軌道改良、摂動計算など軌道計算に関する付加事項である。どの章も豊富な文献を土台にして、式の変化をていねいに追って説明があり、計算例も示されて、親切な書き方である。一般に軌道決定の計算手続きは初心者には非常にわかりにくく、テキストに沿って計算を行っても、はじめは計算の意味も内容もちっともわからずやみくもに進むという場合が多い。私は、本書に、計算の進め方に対してなるべく見透しのよい説明を大いに期待したのであるが、その点には多少の

不満がのこった。それでも、公式集のまとめがあるので、初心者でも本書をたよりに計算することは十分に可能と思われる。

なお、本書の第 1 章は、「天体の軌道決定には、天球上の天体の見える方向を観測し、それと、その観測が行われた時刻とが用いられる。」というなんとも抵抗の大きい文章ではじまる。これは例として挙げただけであるが、本書の中にはこの流儀の不用意な言葉の使い方、構文の不完全さが各所に見られ、読みにくい。今後当分我が国にただひとつの軌道論のテキストとして使用されるであろう本書のために惜しまれる点である。また 51 ページの楕円の図は焦点の位置が悪いので、近日点が距離の極大の点になってしまっている。誤解をされないよう、次の版ではぜひ訂正していただきたい。(長沢 工)

お知らせ I

名古屋大学理学部物理学教室教官公募

1. 公募人員 助手 1 名
2. 所属部門 天体物理研究室 (A 研)
3. 専門分野 天体宇宙物理の理論
4. 着任時期 決定後できるだけ早い時期
5. 任 期 5±2 年
6. 提出書類
 - 履歴書 ○ 研究歴 ○ 業績リスト
 - 主要論文別刷 ○ 研究計画
 - 推薦の場合は推薦書
7. 公募締切 1983 年 4 月 30 日 (土)
8. 宛 先 ① 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室
永井ひろ美
9. 問合せ先 ② 同物理学教室
藤本光昭
電話 052-781-5111 内線 2427
10. その他 封筒に「応募書類在中」と朱書の上、書留とすること